

『 ペットボトルが太ってる!』 3歳児 5月



エピソード

A児が透明カップやペットボトル、じょうろを使って水の移し替えをしていました。すこし大きめの透明容器にペットボトルから水を移し替えた後、その透明容器にペットボトルを差し込み、水が溢れ出ることを楽しんでいました。

何度か繰り返した後、容器に入ったペットボトルを覗き込んでいる様子があったので、保育者が「何見てるの?」と聞くと、「ペットボトルが太ってるー!!」と嬉しそうな表情で保育者に伝えていました。

その後も何度も繰り返し「太ってるね」と保育者に伝える姿があったので、保育者が「本当だね。太ってる〜」と共感すると嬉しそうな表情を見せていました。

次の日は、違うものを水の中に入れて「太っているよ」と水の中に入れたものを横から見て保育者や近くにいた友達に嬉しそうに伝えている姿がありました。

子どもの育ちや学び

・同じ容器同士で水を入れ替えると「ぴったり」、違う容器だと水が溢れて「いっぱい」、ペットボトルの様子を「太っている」など、自分なりの表現で保育者に伝えようとする姿が増えてきました。友達の言っていることに興味を持って聞いたり見たりする様子もあります。

・この時期ならではの水を使った遊びでは、全身を使い水の気持ちよさや不思議さに気づきながら遊んでいます。

保育者の思い

・水の中にペットボトルを入れたときの水の抵抗に不思議さを感じていたのかな?

・自分のしたい遊びやおもしろいと思ったことを十分に楽しんでほしいと思い、一緒に遊んだり子どもたちの様子を見守ったりしていました。

・何度も繰り返し水の入れ替えをする行動がおもしろかったのかな?

・本児の表情を見て、何かに気づいた様子があったので、「なにしてるんだろう?」「なにかおもしろそうだな」と思い声を掛けました。

子どもの発想や表現っておもしろい!

・子どもの思いに共感することで、伝える嬉しさやもっとしたいという思いを持てるように育ててほしいと思います。

・自分で気づいたことを、保育者や友達に、言葉や表情、態度など自分なりの表現で伝える姿を大切にしながら、友達のしていることに興味を持てるようにしていきたいです。

家庭だったら・・・

・お風呂で、プリンカップなどを使ってみると、水の移し替えを楽しむ姿が見られるかもしれません。

・水の移し替えを楽しむ中で、カップによる量の違いや水や容器の変化に気づき、自分なりの表現や言葉にして伝えてくれると思います。